

俳句

正岡子規

柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺

高浜虚子

春風や鬪志いだきて丘に立つ

種田山頭火

うしろすがたのしぎれてゆくか

尾崎放哉

咳をしても一人

河東碧梧桐

赤い椿白い椿と落ちにけり

ゆさゆきと大枝ゆるる桜かな

村上鬼城

飯田蛇笏

春泥に影坊二つあとやさき

久保田万太郎

神田川祭の中をながれけり

杉田久女

春の夜のまどゐの中にゐて寂し

橋本多佳子

燈ともして梅はうつむく花多き